

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書（Web 公開用）

申請者（ふりがな）	時田 隆弘（ときた たかひろ）
所属・資格（※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載）	人間科学学術院 人間科学研究科 修士 1 年
発表年月 または事業開催年月	2026 年 6 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第 26 回日本抗加齢医学会総会
発表者（※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること）	○時田 隆弘、三又 麗奈、山本 林、丸亀 裕貴、矢野 敏史、竹中 裕行、山口 裕司、原 太一
発表題目（※学会発表の場合のみ記載）	オートファジーに着目した健康食品の開発に資する微細藻類の探索
発表の概要と成果（抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。） 本研究では、次世代健康食品素材として注目されている複数の微細藻類から、オートファジー活性を比較し、食品素材候補の同定及び老化との関連を検討することを目的とした。 細胞内恒常性維持機構であるオートファジーの活性低下は、加齢性疾患の発症と密接に関連しており、その活性化は抗老化戦略としても有望視されている。 本学会では、複数の微細藻類についてオートファジー活性化測定を 2 種類の方法で測定した。また、毒性検証および mTORC1 依存性について Western blot により p70S6K および 4EBP1 のリン酸化を指標として解析した。その結果、食品素材候補を同定し、微細藻類のオートファジー研究成果について発表した。	

※無断転載禁止